

KUNIMI TOY BURGER

# 誕生くにみ トイバーガー



モチーフは  
国見バーガー！

長く親しまれるおもちゃを贈りたい—

製作者のみなさんのそんな思いをカタチにした、国見町オリジナルのおもちゃです。町内外で大評判の町の名物グルメ「国見バーガー」をモチーフに、町産杉材を使って一つずつ手作りました。



サバの味噌煮をはさんだ「国見バーガー（クラシック）」とチキンカツをはさんだ「国見バーガー2」がモチーフ。



「名前を覚えながら遊んでほしい」という思いを込め、4種類の具材にはひらがなで名前が書いてあります。

長く親しまれるおもちゃへ  
積木やおままごこと、字が読めるようになったら具材の名前当てクイズなど、遊び方はさまざま。子どもの成長に合わせ、家族で一緒に楽しめるおもちゃです。

製作者のみなさんが徹底したのは「安全であること」。板材から切り出したパーツを、一つずつ丁寧にヤスリがけを重ね、滑らかな手触りに仕上げました。また、口にくわえても大丈夫なように、着色には安全な自然塗料を使用しています。

「手作り」の誕生祝い品  
町は、木工技術を学びながら誕生祝い品を作る「木育セミナー」を昨年8月に開講。町内から9人が受講し、デザインから製作まで受講者が自ら行いました。全10回のセミナー終了後も自主活動を重ね、全員分のおもちゃを完成させました。安全に遊んでもらうために

誕生祝い品の『くにみトイバーガー』で  
ふれあう酒井さん親子



「パパママ、  
木づつであつたかいね」

## 木のぬくもりに 思いを込めて

赤ちゃんに町産杉材の  
おもちゃを贈呈



製作者とアドバイザー  
のみなさん

### 製作者の声 おもちゃに込めた思いを感じてほしい

成長とともに長く遊んでもらえるように、試行錯誤を繰り返しながらデザインしました。パーツは、赤ちゃんがケガをしないように何度もヤスリで磨き、優しい手触りに仕上げました。みんなが安心して遊ぶことができるおもちゃです。

木の質感やぬくもり、木目の美しさなど、“自然”を感じながら、長く大事に遊んでもらえたらうれしいです。

菊池 弘子さん(左) 古内 宣雄さん(右)



誕生祝い品を受ける阿部さん親子

誕生祝い品贈呈式が2月23日、観月台文化センターで行われ、昨年町内で生まれた33人の赤ちゃんに、町産杉材で作った町オリジナルおもちゃ『くにみトイバーガー』が贈られました。  
贈呈式では、太田久雄町長が「木のぬくもりを感じながら、ぜひお子さんと一緒に遊んでください」とあいさつ。製作者を代表して、高野千代子さんが「長く親しまれるおもちゃになってほしいという思いを込めて作りました。たくさん遊んで、すくすく成長してください」とあいさつし、太田町長から代表の阿部雄太さん・心晴ちゃん親子におもちゃが手渡されました。

町では、“木育”の取り組みの一環として、町内で生まれた赤ちゃんに町産杉材を使った町オリジナルおもちゃを贈呈しています。赤ちゃんが初めて出会うおもちゃとして木のおもちゃを贈り、木のぬくもりに触れてもらうことで、感性豊かな子どもたちを育てていきます。

町は、平成28年3月に『ウッドスタート』を宣言し、子どもをはじめとするすべての人が、木にふれあい、木に学び、木とともに生きる“木育”を推進しています。

暮らしに木のぬくもりを  
『ウッドスタート宣言』



“初代”誕生祝い品の積木のおもちゃ